

日出国の教育目標や生徒たちの学園での様子を発信する年3回発行の情報紙です。



学園通信日出

学園通信「日出」Vol.43 2024年4月30日発行

<http://www.hinode.ed.jp/>

発行：学校法人日出国

〒272-0824 千葉県市川市菅野3-23-1

TEL 047-323-3000

FAX 047-324-0921



日出国公式キャラクター
日和かつば



90th
日出国
語りたい夢があります



2024.5
Vol.43

日出国 幼稚園／小学校／中学校・高等学校 2023年度「まとめ」 2024年度「教育方針」

日出国 卒業生からのメッセージ

2023年 IBTF 世界バントワーリング選手権大会 出場

私は4歳の頃よりバントワーリングを習ってきました。日出国高等学校に入学後、バントワーリング部に所属し、多くの大会に出場してきました。

2022年、高校3年生最後の大会で世界大会出場の切符を手に入れ、昨年の8月、イギリスのリヴァプールで行われたIBTF世界バントワーリング選手権大会に出場しました。日本の大会とは雰囲気やレベルも違い、とても緊張しました。しかし、世界大会というステージに立て、多くの選手と交流でき、とても貴重な経験になりました。

このような経験は顧問の先生方や学校の支援があってこそだと思います。とても感謝しています。部活動を通して仲間ができて、大会でも応援のメッセージをいただき、とても心の支えになりました。このような経験をさせていただいた日出国に少しでも恩返しができると思います。

4歳よりバントワーリングを始め、バントワーリングを通してたくさんのご経験をさせていただきました。その中でいちばん印象に残っているのが、昨年初めて出場させていただいたIBTF世界バントワーリング選手権大会です。

バントワーリングを始めた頃には憧れの舞台でしたが、15年間続けて自分の力で立てるようになりました。世界大会は私が想像していた何倍も厳しかったです。しかし、それ以上に大きな舞台で演技ができたこと、海外の選手と交流できたことはとても良い経験となりました。

日出国のバントワーリング部では仲間にも恵まれ、個人では得られない団結心や仲間意識、コミュニケーションスキルなどたくさん学ばせていただきました。この経験を活かし、これからもバントワーリングを通して日出国に恩返しができるよう精進して参ります。



2022年度 高等学校卒業

神楽 梨緒
Shigaraki Rio

十文字学園女子大学 人間生活学部
食物栄養学科



2022年度 高等学校卒業

桑野 花音
Kuwano Hana

武蔵野大学 グローバル学部
日本語コミュニケーション学科

巻頭言

2024年度 学園運営方針



学校法人日出国 学園長

青木 貞雄

昨年度、学園運営は5月の国による新型コロナウイルス感染症の取り扱い見直しに伴い、各種行事を含めてほぼ従来の形に戻ることが出来ました。この結果、幼稚園児、および中学・高校生は初めて、小学生は4年振りに、本来の学園生活を楽しむことが出来たのではないかと考えています。

さて、幼稚園32名、小学校110名、中学校126名、および高等学校158名の新入園児・生を迎え、全学1,545名(在籍定員比98.3%)で新学期がスタートしました。

第4次中期学園運営計画4年目の本年度は、「生徒・保護者から選ばれ、かつ、入学して良かったと言われる日出国創設」の方針具現化に向け、建学の精神に基づく強靱な心身、および校訓の精神、実践力は元より、変化し、かつ価値観が多様化する現代社会で活躍できる高く幅広い学力、特に、習得した知識を的確に活用できる実践的思考力を備えた生徒の育成に

取り組みます。具体的には、

①**幼稚園**：社会環境変化に伴う保育園指向等で減少した新入園児の募集定員45名確保に向け、自由保育を基本とした上で、小学校への円滑な進学に資する文字・数、器楽演奏等の幼小連携教育の充実を図ると共に、保護者の就労支援の一環として、週2回の「わくドキらんち」に加え、希望者対象の注文弁当を週1回導入します。

②**小学校**：教科担任制、英語教育等の充実に加え、アフタースクールに4年生以上を対象とした学習塾新設等、児童の学力向上に向け特徴ある教育を追究します。

③**中学校・高等学校**：入試倍率が共に約5倍と知名度が高まり、恒常的に募集定員を確保していますが、第1目標である高校生の国公立を含む難関・名門大学進学目標を37%に引き上げます。尚、昨年度のGMRCH以上の進学実績が目標の34%を大きく上回ったことから、

現中期計画最終目標40%の早期達成を目指します。また、学力向上の基本である自学習習慣の習得に資する放課後学習支援センター参加を、中学1年生に加え、2年生も義務化します。

同時に、社会に出て役立つ実践英語力習得に向けた全学的一貫取組として、幼稚園では英語の時間に加え、園児がNative教員と1日交流できる日の設定、小学校では少人数の習熟度別クラスを1年生より導入、そして中・高等学校では4・5年生のフィリピン語学校とのOn-line授業、英語による討論の充実等、英語教育を強化します。

学園創立90周年を迎えた本年、記念事業として保護者・卒業生等の協力もいただき、アリーナ1および2への空調設備の導入、メディアセンターの充実、幼稚園遊具見直し等を実施し、生徒の教育環境向上を図ると共に、教職員一同、心機一転、生徒の教育・指導に一層努めてまいります。

幼稚園／小学校／中学校・高等学校 2023年度《全学期のまとめ》

2023年度 まとめ

幼稚園

新型コロナウイルス感染症の5類移行により園児同士の距離が近くなった1年。年間目標の「いろいろな経験の中で友だちと一緒によく考え、表現する」でも成果が

2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが感染症法上の5類になり、幼稚園生活も正常に戻った1年でした。それまでも、さまざまな行事を工夫して実施しておりましたが、2023年度は園児同士の距離がぐっと近くなりました。

幼児期はスキンシップや物理的の刺激が大切です。年間目標の「いろいろな経験の中で、友だちと一緒によく考え、表現する」についても、このような状況が後押しし、各学年でさまざまな経験ができました。

前年度より時間を増やした「子ども文庫」は引き続き順調に実施でき、月刊絵本を使った学びの活動も定着して、言語力や思考力を引き出す活動となりました。年長ではワークタイム後の個別指導にも

注力しました。科学の芽を育てるプロジェクトとして行った「シャボン玉作り」では、前年度は1日のみの活動でしたが、2023年度は複数日にわたり取り組むようにしたところ、自分たちの考えを元に、教員と



一緒に活動する様子が見られました。

年長の金融教育は、学園の購買部での買い物、切符を購入しての電車の乗車、山の幼稚園でのお札での買い物などを経験し、「お金教室」で講師の方に知識や経験のまとめをしていただきました。キャッシュレス化の進む環境においては、お金を扱っていく体験が算数や金銭感覚の基礎を作る上で今後も重要であると考えております。

2023年度は、小学校のNative教員が週1回、火曜日午前中に幼稚園

に滞在し、各クラスでの英語遊びに加え、生活場面でも自然な関わりができました。年長で行った英語劇では、Native教員と担任との協働で園児たちを盛り上げ、園児たちが進んで練習し、さまざまな役割を頑張っていました。

また、子育て支援を目的に課外教室を増やすことができました。火曜日にECC(全学年)、金曜日に造形教室(年長)、アーデルスイミング(年中・年長)を追加しました。どの活動においても、保護者のみなさまのご理解とご協力によって教育効果が上がっていることを実感します。

日々の送迎をはじめ、さまざまなご協力に感謝申し上げます。

(日出国園幼稚園 園長 鍛冶礼子)

小学校

宿泊学習や異学年交流、兄弟学年交流の復活で人との触れ合いを深め、寄り添い、貢献する心を育む

2023年4月6日、4年ぶりに全校児童が参加して入学式を挙りました。2年生から4年生は初めての全員参加での式典でした。式典終了間際に新入生を歓迎して大合唱した「Jump」。前年度末より音楽の時間に、各クラスの朝の会や全校朝礼で、皆で練習してきた歌声。涙をこらえるのに必死だったのは私だけではないと思います。素晴らしい歌声でした。児童たちの心のこもった歌声でした。

この入学式後の5月8日より、新型コロナウイルス感染症は「5類感染症」となり、本校ではすべての行事をコロナ禍前に全面的に戻しました。宿泊行事や各行事にはさまざまな意義があります。校外学習や自然教室、林間、臨海学校は豊かな自

然や文化に触れる体験を通じ、以後の学校での学習活動をより充実させます。

また、異学年交流、兄弟学年交流などの集団行動を通じて、教員、友だち、上級生、下級生と積極的に関わり、1つの目標に向かって協力して行動するという経験をもちます。人に寄り添い、人のために行動する貢献的な気持ち、相手のことを考える気持ちが育まれ、人間的な触れ合いを深めて楽しい思い出を作っていきます。新入生の入学を楽しみにして教室の装飾やアリーナの準備をする児童たちの姿を見ていたからこそ、胸にせまるものがあつたと思います。

さて、授業も各教科研修・改善を重ねておりますが、3年生以上ではアプリ「モ

ノグサ」の活用方法も定着し、基礎・基本の徹底を図りました。1年生から4年生の英会話授業は1クラスを2つに分けて行っていました。発言する回数も増え、臆することなく授業に参加でき、効果的だったと思います。また、5・6年生の授業ではオンライン英会話を導入しました。英会話レッスンのみならず、職業に関するキャリア教育でもあり、2024年度も取り入れる予定です。

さらに、3年生以上で使用している副教材「Explore Our World」を1・2年生にも取り入れる予定です。

その他、学校からのお知らせや「学年だより」の情報発信を、早く、誰もが見ら



れるようにと紙媒体を止めてHP掲載やBLEND配信にしましたが、学校評価アンケートなどの結果を踏まえて、今後見直してまいります。

2024度も、「知・徳・体」のバランスのとれた、さらには自己肯定感を持って逞しく生きて行ける児童の育成を目指し、教職員一丸となって参ります。どうぞよろしくお願いたします。

(日出国園小学校 副校長 藤原 佐具子)

中学校
高等学校

難関大学の現役合格者の割合・人数はこれまでを大きく上回り大躍進

保護者のみなさまには、平素より本学園の教育活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

2023年度は5月8日に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同等の5類となり、「コロナが明けた」年であったと思います。学校生活や行事等も、ほぼすべてが「コロナ前」と同じように行うことができました。

一方で、まだコロナ感染者がゼロになつたわけではなく、今後も学校生活における感染症への注意は続けていかなければならないと考えています。

オーストラリアの姉妹校 St Paul's Anglican Grammar Schoolとの交流についても再開が決定しました。まずは

2024年6月に St Paul's から生徒と先生たちが本校を訪れます。その後、2025年は本校から St Paul's へというように、隔年で相互に訪問し合う予定です。

2023年度の6年生の大学受験については、コロナ禍を過ごした影響が心配されましたが、難関大学の合格割合・数ともに過去最高を大きく上回り、大躍進というよい結果になりました。

私たち教員は難関大学の合格数を増やすことのみが重要ではなく、生徒たちの志望をかなえることこそ重要だと考えていますが、この結果は多くの生徒たちの志望をかなえることができたことを示していると思います。

今後も本校の特徴である、良好な生徒



と教員の関係性を活かし、生徒たちとの面談を通じ、あきらめず自分たちの志望に向かって挑戦し続けるよう指導していきたいと思っています。

保護者のみなさまにおかれましては、今後ともご支援、ご協力の程、よろしくお願申し上げます。

(日出国園中学校・高等学校 教頭 佐久間 究)

2023年度 主要大学合格実績

国公立 計10		
大学名	現	卒
東北大学		1
山形大学		1
千葉大学	3	1
鳥取大学	1	
神戸大学		1
千葉県立保健医療大学	1	
帯広畜産大学	1	

早慶上理 計24		
大学名	現	卒
早稲田大学	5	1
上智大学	4	
東京理科大学	13	1

GMARCH 計134		
大学名	現	卒
学習院大学	20	
明治大学	32	2
青山学院大学	6	1
立教大学	21	
中央大学	12	2
法政大学	37	1

医学部 計2		
大学名	現	卒
鳥取大学	1	
東海大学		1

2024年度 教育方針

幼稚園

運営目標 一人ひとりが自分の力を発揮し、遊びや活動の中で友だちとの関係を深める

新しく入園した園児、並びに保護者のみなさま、ご入園おめでとうございます。日出学園幼稚園では、大勢の年長さん、年中さんが、みなさんと会えるのを心待ちにしていました。

最初はいろいろと戸惑うことがあるかと思いますが、どうぞ、お兄さん、お姉さんを頼りにしてください。

保護者のみなさまも毎日の送迎やお弁当作りが始まりますが、小さなことでもぜひ我々教職員にお尋ねください。教職員と親しく話せるのが日出学園幼稚園の良いところです。

さて、本園は「なおく、あかるく、むつまじく」の校訓のもと、「多様な体験

を通して思考力と主体性を育てる」という教育目標を達成すべく、家族的な雰囲気大切にしながら保育を実践しております。今年度は「一人ひとりが自分の力を発揮し、遊びや活動の中で友だちとの関係を深める」という運営目標を



立てました。

コロナ禍も落ち着き、園児同士の関わり合いが従来通りに戻ってまいりましたが、ここ数年の経験不足の影響は残っております。まず、「生活を丁寧に」、自分のことは自分で行うという基本を各学年に合わせたレベルで実践します。

特に箸の使用については年少のうちにある程度きちんと持てるように指導します。また、他の園児と遊んだり活動したりする経験や社会的な経験の不足を補うため、遊びやクラスの活動

を楽しく盛り上げ、一人ひとりがのびのびと自分の力を発揮し、自信をもって物事に取り組んでいけるようにしていきます。

日出学園幼稚園
園長

鍛冶 礼子



このような基本の力を付けた上で、幼小連携カリキュラムを年中3学期より始め、小学校での学びに備えます。

幼稚園は、登園してから降園するまでがひとつの授業です。遊びや生活のどの場面でも総合的な教育をしています。保護者のみなさまと連携して、一人ひとりを大切に保育を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

小学校

運営目標 「学ぶ意欲」と「学ぶ力」の育成による言語力を含む学力向上と心の教育

新入生保護者のみなさま、お子様のご入学おめでとうございます。期待と希望に溢れたかわいい1年生を教職員一同、心より歓迎いたします。



小学校生活は幼小中高の学校種で一番長い修業年月です。1年生が6年生として卒業するまで身も心も大きく成長する大切な時間でもあります。「なおく・あかるく・むつまじく」の校訓のもと、学校目標として〈じぶんの良さを知り、未来にたくましく進める子〉の育成に取り組んでいます。

行動制限が解除され、一人ひとりの児童が笑顔でお友だちと協働し合い学校生活を送る姿がたくさん見られるようになりました。運動会、学園祭、

校外学習など教室での活動以外にも児童が楽しみにしていた行事が盛り沢山予定されています。一つの行事を経験するごとに小学生らしく成長してくれると思います。

小学校の新たな取り組みとして、4年生以下の英会話の授業では習熟度別に2クラスに分け授業を行います。基本をしっかり身に付けるクラス、より実践的な英語力を身に付けるクラスと、児童の英語力を伸ばす指導をします。

また、4年生以上では、「ひのキッズ」の学習コースを一層充実させた学校内塾をスタートします。学校の補習は学年ごとに曜日を設定し指導する体制は、これまで通り変わりありません。

3年生以上では、ICT機器を活用し自学習アプリ(モノグサ)の運用を広げるとともに、言語表現指導の徹底に取り組む、6年生では自学習用の補習教室の開設も引き続き行います。

日出学園小学校
校長

荻原 巖



自ら目標設定して取り組む漢字検定、JETに加え、数学検定、歴史検定、英語検定の受検機会を作り、自ら学ぼうとする姿勢をバックアップする体制のもと、児童の学力向上に取り組んでいきます。

今年度も信頼できる学校となるよう教職員一同取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

放課後学習支援センターも設置していますので有効活用してください。

中学校
高等学校

運営目標 個性を尊重し、「生きる力」および「自ら行動する力」を育む総合教育の実践

保護者のみなさま、お子様のご入学、誠にありがとうございます。お子様が安心して充実した学校生活を送れるよう教職員一同、誠心誠意支援していく所存です。

昨年10月に文部科学省は全国的に不登校が急増している要因として、コロナ禍の長期化による生活環境の変化や学校生活のさまざまな制限で交友関係が築きにくくなったことなどが背景にあると分析・発表しました。本校も例外ではなく、生活のリズムがつかめずに転退学していく生徒が増加しています。

また、心の問題を抱えた生徒も急増しております。親子関係に起因している

ケースが多く見受けられますので、普段よりご家庭でお子様との良好なコミュニケーションが取れるよう関係構築をお願いいたします。

さて、1年生は4月11日より2泊3日、軽井沢山荘にてオリエンテーション合宿を行いました。入学して早々ではありますが、1年生はこの行事により、学園生活に対する理解と級友との親交をいち早く深めることができましたように思います。4年生は校内でのオリエンテーション開催でしたが、さすが高校生だけあって、すぐに学校生活にも慣れてくれたように感じます。

中学校・高等学校では生徒の進路希望



実現を最優先課題とし、進路指導の充実・授業改善・環境整備等に努めています。3月に卒業した6年生は非常に頑張ってくれ、学園の目標とする難関・名門大学に3人に1人以上の割合で合格することができました。

進路希望を実現するためにはなるべく早い段階で自ら学ぶ習慣を身に付けてもらうことが最も重要です。本学では

日出学園中学校・高等学校
校長

堀越 克茂



また、生徒全員にノートPCを所持してもらい、情報活用能力の育成を図るとともに、4年・5年ではそのPCを活用したオンライン英会話も実施しています。

コロナ禍で中断していたオーストラリア姉妹校との交流は今年度より再開し、YFUやロータリークラブを通じた留学生の受け入れや留学機会推進の取り組みも積極的に行っていく予定です。

何卒、本学の教育方針にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年度3学期 TOPICS

幼稚園 就学準備のためのプログラム「ワークタイム」が年中クラスで始まる

前号の学園通信「日出」VOL.42の特集「幼稚園・小学校連携による就学準備保育」で取り上げたように、日出学園では幼稚園と小学校が一体となって、幼稚園児が小学校進学に際し、スムーズに小学校生活を送れるよう、年長時の就学準備保育「ワークタイム」という保育活動を設けています。

「ワークタイム」の具体的な中身としては、正しい姿勢、先生の話の聞き方、手の挙げ方、鉛筆の使い方、簡単な図形の書き方、自分の名前をひらがなで書く、ひらがなの読み方、簡単な計算など、多岐にわたります。

「ワークタイム」を通じた就学準備を、2023年度より年長から年中の3学期へ前倒してスタートしました。



先生の「点と点を線で結んでみよう!」に園児たちはじっくりと線を引きます

「小学校に進学するための就学準備は、保護者にとっても関心の高い事柄で、学校評価アンケートでも要望の1つとして寄せられていました。これまで幼稚園が蓄積してきた就学準備プログラム(ワーク)の中から、無理なく年中でも取り入れられる鉛筆の初歩的な使い方を選び、スタートさせました」(2023年度うめ組 池部かほり先生)

2月27日に行われたワークタイム初日は、ひので劇場で年中クラスの園児が披露したペンギンのお話をモチーフにしたシートが配られ、点と点を線で結ぶ、鉛筆で道路を描くといったワークが行われました。

「園児には『こう、やりましょう』ではなく、『さあ、やってみよう!』と声をかけて、楽しみながら自発的にワークに取り組み、失敗しても次また頑張ろうと思えるような指導を意識しました」(2023年度うめ組 中川多恵先生)。

今後も幼稚園では年中クラスと年長クラス、小学校と連携して、就学準備プログラムの充実に取り組んでいきます。

年中クラスの『ワークタイム』の動画はQRコードから▶



降園後の課外活動に、外部と提携し、英語やスイミング、造形教室などを新たに導入

日出学園幼稚園は、2022年より市川市の就労支援型預かり保育幼稚園として認定されました。平日は7時30分から19時まで、預かり保育を行っています。

また、14時の降園後には、預かり保育だけではなく、課外活動を充実させ、外部団体と連携しながら、毎日さまざまな活動を行っています(下段表組)。

2023年度からは、幼稚園主催の「わくドキくらぶ」、外部講師による「スポーツクラブ」「花まる学習会」に加え、「ECC英会話」「造形教室」「アーデルスイミング」など、保護者ニーズが高かった課外活動を始めました。

「降園後に園児たちが課外活動を行うことによって、保護者の就労サポートをするだけ

でなく、就労に限らず園児が課外活動をしている時間に、いろいろなことができるのでありがたいという声をいただいています」(鍛冶園長)

また、園児は幼稚園から帰宅した後に、近所のスイミングやスポーツクラブ、学習教室に通ったり、さまざまな習い事をするケースが多いようですが、保育後、そのまま習い事ができるのは、保護者にとっては安心であり、園児にとっても友だちと一緒に楽しめるというメリットもあるようです。

通常の保育内容の取り組みだけでなく、幼稚園保育後も、園児が楽しい時間を過ごせるよう、さらに課外活動の充実に取り組んでいきます。



ECC英会話ではモニターや絵本を使って楽しい授業を



造形教室では、毎回お絵描きや工作などで作品を仕上げます

月	火	水	木	金
幼稚園主催「わくドキくらぶ」 1学期…日本舞踊・合気道・空手 2学期…お花・和太鼓・書道 3学期…茶道・狂言	スポーツクラブ (年少・年中) ECC英会話 (年少～年長)	花まる学習会 (年中・年長)	スポーツクラブ (年長～低学年)	造形教室 (年長・月2回) アーデルスイミング (年中・年長)

小学校 コーチを招いて新種目の特別授業「ラウンドネット」に5年生が挑戦



「ラウンドネット」という新しいスポーツをご存知でしょうか? アメリカで生まれたこの競技は、2対2の4人で行います。4人の中央に置いた直径1メートル程の円形ネットに素手でボールを打ち合い、自チームがネットにバウンドさせたボールを、相手チームがタッチ3回以内にネットに返球できなければ得点になるという、バレーボールに似た簡単なルールで、大人でも子どもでも楽しめるスポーツです。



最初はネットに手で投げ入れてバウンドさせる練習

1月23日、日本ラウンドネット協会より4名のコーチが来校。5年生の体育の授業で、児童たちがラウンドネットに挑戦しました。最初はコーチによる模範プレーが行われ、その後、ボールに慣れるための1対1でのキャッチボール、2対2でボールをネットに投げてバウンドさせてのキャッチといった基礎練習をしました。

その後、練習が進むにつれ児童たちは要領をつかみ、ルールもわかってきたようでした。今回、ラウンドネットの特別授業を導入した後藤紗智子先生は、「児童たちも楽しんでいたので、体育でのウォーミングアップや、クラスレクなどに使ってもらえれば」と、この授業の感想を語っていました。

「ラウンドネット」の特別授業の様子の動画はQRコードから▶



1年生の読書授業参観で英語・日本語の絵本の発表会

1月25日の授業参観で、4時間目に1年生全クラスで、世界的に有名な絵本作家、エリック・カール氏(2021年没)の絵本を題材にした読書の授業(担当・後藤紗智子先生/敷下夏美先生)を行いました。

絵本の題名当てクイズでは、『月ようびはなにたべる?』『ホットケーキできあがり!』『おほしさま かいて!』『だんまり こおろぎ』など、エリックカール氏のさまざまな絵本が紹介されました。そして、同氏の代表作であり、世界中の子どもたちに人気の『はらぺこ あおむし』を、日本語版と英語版で朗読したり、『月ようびはなにたべる?』の歌を合唱したりするなど、この日に向けて練習した成果を保護者に披露しました。



「今回の読書の授業企画は、1年生で英語の絵本を借りていく児童が何人かおり、それなら英語の本を取り入れた何かをやってみようと思ったのがきっかけです」と後藤先生。

この日は1年生の担任教員による『ともだちや』(作:内田麟太郎/絵:降矢なな)の絵本を題材にした寸劇も披露され、児童や保護者から大喝采でした。学年最後の授業参観に相応しい、合同授業となりました。



英語の朗読の最後は、皆で声を合わせて「he was a beautiful butterfly!」

4年生対象にクイズ形式の特別授業「南極・しらせ・ペンギン」

2022年に第63次南極地域観測隊同行者として南極・昭和基地に赴いた、中学校・高等学校の武善紀之先生(情報科)による特別授業「南極・しらせ・ペンギン」を、1月29日、1月31日、4年生を対象に開催しました。

武善先生の小学生に向けての「南極授業」は、2022年度には4年生・5年生・6年生を対象に

行われましたが、2023年度の4年生にとっては、この日が初めての南極授業。武善先生は「少しでも児童たちが授業に興味を持って参加してもらえるように」と、クイズ形式で南極にまつわるテーマを出題しながら、授業を進めました。「Q.広大な南極で一番大事なものは何?」のクイズの答えは「自分の居場所を伝える通信」ということで、実際に武善先生が南極で使ったトランシーバーを児童たちが体験する場面もありました。

最後に武善先生は、南極での経験を通じて、「南極は自分にとって面白いものだらけの場所。それが『面白い!』って思えるのも、それまでに自分が興味あること、知りたいことにたくさん出会ってきたからこそ。みんなもいろいろなことに関心を持ってほしい」と、この日の特別授業を締めくくりました。



南極で武善先生(円写真)が使ったトランシーバーを操作

2023年度3学期 TOPICS/退任教諭「長い間お疲れ様でした」

中学校
高等学校

県立船橋高校を招待して実施 HNDDS「日出国園は生徒間の恋愛を禁止」ディベート

Hinode Gakuen should ban romance between students.～日出国園は生徒間の恋愛を禁止すべきである～

2月13日、こんなショッキングなテーマが、HNDDS(日出国園英語ディベートクラブ)で議論されました。これは、英語ディベートとはどういったものかを、日出国園の生徒に見てもらうための「HNDDS英語ディベートお披露目会」でのTOPIC(論題)で、今回は千葉県立船橋高等学校の英語ディベート部の生徒5名と顧問の齋藤圭先生を、ディベートのジャッジ(審判)として招待し、開催しました。

運動部では練習試合や大会等で他校と対戦したり交流することはあっても、文化系の部活動では他校との交流はまれです。今回、県立船橋高校の皆さんを招くに至ったのは、昨年HNDDSが出場した大会でジャッジを務めた県立船橋高校の齋藤先生とHNDDS顧問の高味先生が、高校生の英語ディベートをもっ

と発展させたいという思いから、この交流が実現しました。

この日の英語ディベートでは、日出国園の高校生3名、中学3年生3名が参加。3名ずつ肯定側・否定側に分かれ、すべて英語でそれぞれの意見を戦わせました。

「ディベートの論点は、肯定側は、恋愛を禁止するという過激な校則をいかに正当化できるか。否定側は、恋愛禁止という校則が生徒の成長の妨げになるということ、どのように説明するかという点でした」(高味先生)

そして議論の結果、県立船橋高校の皆さんの判定は、5名が「禁止すべきである」を支持し、肯定側の勝利という結果となりました。

「肯定側の“恋愛に関わるトラブルは解決しにくい”という意見にジャッジの賛同が集まり、恋愛のトラブルは先生にも相談しにくい、発覚しているよりも多くのトラブルがあるの



日出国園中高生のディベートを船橋高校生(手前)がジャッジ

県立船橋高校のみなさんと日出国園の生徒との記念撮影(前列左から3人目が齋藤先生)

では、という鋭い分析が判定の決め手となり、“禁止すべき”となりました」(高味先生)

“禁止すべきでない”という否定側に1票だけ投じた県立船橋高校の齋藤先生は「恋愛により学力低下するという否定側の意見のメカニズム(組み立て)が弱いように感じました。むしろ、恋愛の相乗効果で学力が上がるかもしれない」との見解を示しました。

ディベートを終えて、参加した県立船橋高校の生徒の皆さんからは「いつもは即興型の英語ディベートをしています、準備型のディベートも新鮮でよかったです」「他校との交流は初めて。これからは誘っていただきたい

す」といったコメントをいただきました。

日出国園のHNDDSの生徒からは「同じ高校生にジャッジしてもらったのは初めてで、いろいろ評価もいただけたので、今後に活かしたいです」と、生徒同士の交流に手応えを感じていたようです。

高味先生は「ジャッジを説得するには議論をどう構成するか、英語の表現としてはどうしようかなど、相手の目線に立って自分のスピーチのあり方を考えることが大切。次は日出祭などで招待親善試合を行い、在校生や保護者の方など多くの人に見ていただきたい」と、今後の抱負を述べられました。

長い間お疲れ様でした



小学校 田代 功 悔いのない40年間の小学校教員生活

人生の半分をこの日出国園で過ごさせていただきました。40年前という世間では、千葉浦安にディズニーランドが開園した頃です。名前も聞いたことのない市川の私立小学校新任として迎え入れられました。

新しい仕事に就いて間もなく「こんな職場辞めてやる」という息子の言葉に、「お前は短気で困る。1年間我慢してそれでも辞めると言うなら辞めてもよい」という父親の言葉に一時の感情を抑

え、1年間を過ごしました。それが40年間続くなんて。

要因として考えられるのは2つ。1つは子どもたち。毎日のように遊んだり勉強したりで、あっという間に1年間が過ぎていったこと。もう1つは仲間。円卓の騎士ならぬ省卓の教師たちは、連絡、報告、相談そして励ましをすることで不安なく過ごせたこと。

「満足いく40年間でしたか」と問われると、悔いのない40年間だったと今は思います。



小学校 山田勝夫 保護者になった卒業生と30年ぶりの再会

中学校・高校の美術担当から始まり、中学校・小学校の美術・図工、そして小学校の図工を担当し、今日まで35年以上日出国園で過ごさせていただきました。

最近では生徒、児童だった方に在校生の保護者としてお会いすることも多くなり、驚き、そして嬉しく思いました。今年度の運動会が終わった後、2人の男女が図工室を訪れてくれたのですが、その2人は私が初めて小学生を持った時の6年生で、実に30年以上ぶりの再会でした。1年間のみを担当でしたが、植田君は6年時に作った「木工・た

いこぼりの箱」を持ってきて「今も名刺を入れたりして使っています。取っ手を間違えて違う所に付けたけど、先生がそこを“逆にいね”と言ってくれたので嬉しかった」。麗さんは「先生に出会えたから美術系の道を選んだ」と話してくれ、感動的な最後の運動会となりました。

また、小学校1年生から高校3年生までで唯一担当したことがなかった小学校3年生を昨年度より担当させていただき、3年生との図工って面白いなあ、楽しいなあ、と実感しています。

長くお世話になりありがとうございました。皆様のご健康と学園の発展を祈念いたします。



小学校 北澤貞夫 ありがとう、日出国園の皆様

日出国園中学校で6年間、小学校で35年間の教員生活は、とても短く感じられます。

中学での担当教科は技術で、3年生は週3時間を受け持ちました。機械の仕組みを勉強して2サイクルエンジンの分解や組み立てをしたり、旋盤も扱ったりしました。夏休みになると、岩井臨海学校や野球部の夏の大会を引率しました。猛暑の中、生徒たちは協力して頑張っていたと思います。

平成元年、私は小学校に異動し、低学年の担任を受け持つようになりました。始めは勝手がわか

らず、学芸会の劇「浦島太郎」では、舞台セットの竜宮城をベニア板8枚繋ぎ合わせて作りましたが、50周年記念体育館の入り口で屋根がつかえてしまい、分解して入れることになりました。そして、先生方の協力もあり、3年生全員が無事上演することが出来ました。

朝からグラウンドで児童と遊んだり、教室で一緒に歌の練習をしたりして、私が41年間楽しく勤められたのも、ひのでっ子の皆さんが素直であったからだだと思います。児童、保護者の皆様、ありがとうございました。



中学校・高等学校 新井 肇 立派に成長した卒業生が私の誇り

大学を卒業して教員になり、3月いっぱい43年間の教員生活に幕を閉じます。長きにわたり私を支えて下さった先生方、学園関係者の方々、生徒・保護者の方々に感謝申し上げます。

私が保健体育の教師を目指したのは、中学校より始めたバスケットボールを通じ体力、競技技術のみならず精神面、特に人間として成長を促していただいたことが大きいと感じています。恩師の方々には感謝してもしきれないほどです。

私も生徒に授業だけでなく、担任として学級運営、部活動(バスケットボール)を通じて成長の手助けがしたく教師を志しました。自分がうまくできたかは分かりませんが、とにかく一生懸命走っ

てきたつもりです。いろいろなことがありました。思えば失敗だらけだったように感じます。しかし、それらも愛敬、ご勤弁願います。

私の拙い指導でも、生徒の皆さんは学園を卒業され、大変立派になり活躍されています。大変嬉しく思います。誇りにも感じます。これも教師冥利に尽きるというものです。たくさん思い出をありがとうございました。これから第2の人生、未だ何をするか決まっていますが、私らしく生きて参ります。

今後の日出国園の発展をお祈りし、私からの挨拶とさせていただきます。本当に長い間ありがとうございました。



中学校・高等学校 柴田幹治 たくさんの思い出をありがとう

たくさんの思い出を積み重ねることができた30年近くの月日でした。多くの生徒と過ごした体育祭や日出祭、生徒会行事等の学校行事や部活動では、共に考えたり悩んだり苦勞をしてその成果に喜んだり悔しいおもいをしたり、修学旅行では日頃の教室での授業とは違う環境の中で様々な事柄が学べ楽しい時間でした。

また、良き先輩の先生方と良き後輩の先生方に

恵まれ、多くの討論をしたり楽しい体験をしたり、勉強の日々を過ごせました。学校の移転を体験できた事も思い出のひとつです。

書ききれませんがたくさんの思い出をありがとうございました。生徒の皆さんは、日々の学校生活を大切に勉強等に励んでください。

最後に日出国園の発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。



幼稚園 中山晴美 幸せな時間を過ごさせていただきました

6年間、日出国園幼稚園にお世話になりました。楽しい時間をありがとうございました。6年間、出会った園児たちはどの子もかわいく、本当に自分の子どものようでした。

園児たちは、いつも一生懸命で、毎日のように成長の様子が目に見えます。できなかったことができるようになる。その感激の瞬間と一緒に味わうことができ、私も一緒に成長できたように感じています。

特に、日出祭やひので劇場、山の幼稚園といった大きな行事にはクラスみんなで一つになって取り組んで、「やったねー」とみんなで思ったことは、どの学年の園児たちにとってもこれからの人生の基礎となる大切な経験だったと思っています。

この6年間、「先生、だいすきだよー」の笑顔に囲まれて過ごしてきました。それを支えてくださった園長先生を始め同僚の先生方、保護者の皆様方、本当に感謝しています。幸せな時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

人・ひと・ヒト《学園長特別表彰卒業生／2023年度 日出育英会奨学生／INFORMATION》

2023年度卒業生 学園長特別表彰 12年間皆勤賞受賞者

2024年3月1日の高等学校卒業式で、小学校から高等学校まで無遅刻・無欠席・無早退の12年間皆勤の卒業生、島宮丈喜さんと及川和優さんが、青木学園長より学園長特別表彰されました。2人は小学校当時から「一心同体」と認め合うほどの大の仲良しで、互いに励まし合い、12年間皆勤賞という偉業を達成しました。ここに卒業生のお2人とお母様方の受賞コメントを掲載いたします。

島宮丈喜さん

島宮さんが今回の12年間皆勤賞につながった原点は、小学校1年生を皆勤で過ごせたこと。「主人が皆勤だったということもあって、子どもは休ませたくないという思いから、皆勤で通わせようということとその思いが叶いました」(お母様)



本人はのびのびと過ごせた学園生活のようですが、お母様にとっては実は、ハラハラ、ドキドキの連続。「息子はすごくヤンチャで、友だちとのトラブルや成績のことで学校に呼び出されることが多かったのですが、先生が巧みにアプローチして

島宮さんにとって、日出学園での学園生活は、とても楽しく過ごせた12年間だったようです。

「僕はスポーツが好きで、小学校ではスポーツ大会などがいい思い出です。クラブ活動も小学校ではソフトテニスと剣道、中・高では剣道部で、楽しく過ごせました。中学に入った時は内進生の友だちも多かったのですが、外部からきたクラスメイトともすぐに打ち解け、いろいろ遊んだり、仲良く過ごすことができました」(島宮さん)

くださり、ものすごく先生方に助けられました」

また、お母様から見ての日出学園は「保護者や通う生徒さんが、みなさん同じところを見ているような感じで、この環境が子育てする親にとっては、本当に良かったと思います。」

「日出学園は第2の居場所」と言う島宮さん。春からは医療マネジメントを学ぶ大学に進学が決まり、居場所だった学園からも、ヤンチャからも卒業した青年、島宮さんの前途に期待です。

及川和優さん

「日出学園での印象深い思い出は？」の質問に、及川さんは「先生方にたくさん迷惑をかけたなあというのがいばん思ひ出深いところです」と回答。それはお母様も認めるところで、「小学校の頃は『学校に行かない!』という息子をどうにか学校



り返ります。及川さんは自身の性格を、「0%か100%の両極端」と分析。その性格にはお母様も手を焼いたようで、「やりたくないものは、何を言おうがやらない。でもハマると120%のめり込む。そんな息子ですから、先生方の巧みな指導で、勉強や進学では本当に親身になって導いていただきました」(お母様)

まで連れて行って、校門で駄々をこねる息子を、待ち構えている先生が優しく諭しながら教室に連れて行ってくださいました。中学に入ってからは、学校からの呼び出しで親とぶつかることもあり、勉強面でサポートしきれなくて先生に相談すると、先生からは『大丈夫です。お母さん、心配しないでください』という励ましの言葉をいただき、そうした先生方のおかげで、親である私も成長できた12年間だったと思います」と、これまでを振

返ります。及川さんは自身の性格を、「0%か100%の両極端」と分析。その性格にはお母様も手を焼いたようで、「やりたくないものは、何を言おうがやらない。でもハマると120%のめり込む。そんな息子ですから、先生方の巧みな指導で、勉強や進学では本当に親身になって導いていただきました」(お母様)

及川さんの夢は、「高速道路における路面減速デザインの研究」と明確です。受験でもそれをテーマに総合型選抜でチャレンジ。大学への提出書類作成には多くの先生方の協力をいただき、この春、夢への第一歩を踏み出しました。

卒業生による『進路講演会』の及川さんの講演動画をQRコードからご覧いただけます▶



2023年度 日出育英会奨学生

2023年度、部活動等の課外活動で優秀な成績を修めた児童・生徒・部活動に、日出育英会より奨学金が授与されました(個人に対し5万円、1部活動に対し15万円)。ここに2023年度奨学生を紹介します。(敬称略)

学年・組(2023年度時)	氏名	授与理由
小学校	2-2 南辰吾	第47回ピティナ・ピアノコンペティション全国大会入選
	5-1 須藤 嶺	第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会アーティスティックスイミング競技 第6位入賞
中学校	1-3 長谷川実和	第5回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会出場
	3-3 神原 葵	
	2-4 金坂友侖	第63回全国中学校水泳競技大会出場
	中学バトントワーリング部(代表・3-4 上堀凧彩)	第51回バトントワーリング全国大会出場



(後列左から)須藤さん お母様/南さん お母様 お父様/須藤小学校校長/堀越中学校・高等学校校長/鑑治幼稚園園長 (前列左から)長谷川さん/須藤さん/南さん/青木学園長/長島ひので会会長/金坂さん/神原さん/上堀さん

2024年度 新任教員のご紹介



小学校 教諭 齊藤奈々
小学校 教諭 橋本和弘
小学校 図工教諭 戸田美穂
小学校 准教諭 増井幸治
中学校・高等学校 数学科教諭 伊東飛紀
中学校・高等学校 英語科教諭 平野梨那
中学校・高等学校 英語科教諭 笠井美結



中学校・高等学校 英語科教諭 プーティエ・クレイ・ジョナサン
中学校・高等学校 英語科教諭 大谷義展
中学校・高等学校 国語科教諭 井澤陸斗
中学校・高等学校 家庭科教諭 小松椎菜
中学校・高等学校 音楽科准教諭 北谷しずく
中学校・高等学校 音楽科准教諭 小川太一

小学校 准教諭→教諭 見目まどか
小学校 准教諭→教諭 笹口希美子
小学校 准教諭→教諭 三橋 元
中学校・高等学校 准教諭→保健体育教諭 五反田 由
中学校・高等学校 非常勤講師→保健体育准教諭 成嶋七海

2023年度 退職者

幼稚園 中山晴美(教) 平山淳子(嘱)
小学校 山田勝夫(教) 田代 功(教) 北澤貞夫(教)
中学校・高等学校 柴田幹治(教) 新井 肇(教) 渡邊みなみ(教) 青木香璃(教) 石神成美(教) 松浦健詞(教) 中村裕子(准) 田村美和(准) ヒューズマーシャルアラン(准) 荒木真里奈(准) 藤田博英(調) 清水恵美子(調) 吉田浩明(調) 杉野 栄(調) 池田杏佑(調) 曾部遼平(調) 中村紗代(調) 酒井勇太郎(調) 三森孝雄(調)
学園業務部 森島美穂(嘱) 上村瑞穂(嘱) 新城晴菜(嘱) 森田雅俊(嘱)

※敬称略 (教)=教諭 (准)=准教諭 (調)=講師 (嘱)=嘱託職員

INFORMATION

日出学園ホームページ、全面リニューアル

日出学園のホームページ(以下HP)が全面リニューアルされました。これまでのHPは2015年にリリースされ、経年とともに、視認性や学園全体での統一感が欠けてきた面が否めませんでした。

そうした点を改善し、スマートフォンやパソコン、タブレット端末などさまざまなデバイスでも見やすいHPに今回全面刷新しました。

リニューアルのポイントは以下のとおりです。

- ✓写真や動画を多用して、HPの視認性を向上
- ✓見たい情報へたどり着くまでの操作回数の低減
- ✓トップページの情報量を整理し、必要な情報にたどり着きやすいナビゲーションやメニューバーを配置
- ✓受験生志望者・在校生・卒業生・教職員採用志願者別に区分けされた導線に見直す
- ✓スマートフォンにも最適化した、縦・横両画面のレイアウトを追加



※保護者の方との連絡用アプリは、従来通り、幼稚園はバスキッチ、小学校、中学校・高等学校はBLENDを介して行います。

日出学園創立90周年記念事業概要

1934年に開校(幼稚園・小学校。中学校開設は1947年、高等学校開設は1950年)した日出学園は、今年で創立90周年を迎えました。その節目となる今年、創立90周年記念事業として、学園施設の一層の充実を図ることを目的に、皆様からのご寄付を

賜り、下記の3つの事業を推進してまいります。ご寄付については、学園ホームページに手続き等を示しています。創立90周年記念事業にご賛同いただき、皆様からのご寄付のほど、よろしくお願い申し上げます。

「メディアセンター」リニューアル
小学校、中学校・高等学校図書館をリニューアル
児童・生徒が相互利用可能な施設に生まれ変わります

アリーナに空調設備を配備
アリーナ1・2に空調設備を新設
夏涼しく、冬暖かな体育館に

幼稚園遊具リニューアル
園児に人気の飛行機遊具に
知力・体力を育む機能が付加

日出学園のスクールカラーを「松葉色」に制定

これまで、日出学園学園のイメージカラーは「緑」とされてきましたが、明確な色は定められていませんでした。そこで今年、創立90周年を迎えるにあたり、創立90周年記念事業委員会が中心となって「スクールカラー」策定の協議が進められ、日出学園のスクールカラーが、日本の伝特色である「松葉色」と定められました。

この「松葉色」の色味は、日出学園の学園旗にある濃い緑色を模したもので、菅野の地に茂る黒松の松葉を連想させる色でもあります。今後は学園の印刷物、HPなどでもこの「松葉色」が各所にあしらわれていくことになります。



松葉色 16進表記=#3F7735
RGB=R63 G119 B53
CMYK=C60 M0 Y80 K50

編集後記 新入生の10年後に思いを馳せて

学園創立90周年という節目の今年、幼稚園・小学校、中学校・高等学校合わせて426名の新入生が本学に入学しました。例年は入学式前に散り始めていたプロムナードの桜ですが、今年は満開の桜が皆さんを迎えました。創立80周年記念植樹で植えられた河津桜や八重桜も、この10年ですっかり逞しい樹木に育ちました。10年後、日出学園が100周年を迎える時、今年の新入生は中高生になり、社会人となってきっと逞しく成長しているだろう。桜を見ながらそんな姿に思いを馳せました。

編集発行人 学校法人日出学園 学園長 青木 貞雄

学園通信「日出」 Vol.43 2024年5月号

※本紙掲載記事・写真の無断転載を禁じます。

発行 2024年4月30日

編集発行人 青木貞雄(学校法人日出学園 学園長)

編集 学園通信「日出」編集委員会

幼稚園 根岸 わかな 中川 多恵

小学校 澤瀬 正幸 廣嶋 秀行

日下 瑞穂

中学校・高等学校 石川 茂

法人企画室 児玉 尚樹 児玉 孝喜

渡邊 広樹